

令和2年度 第3回秩父市総合教育会議 次第

令和3年3月22日（月）15時

本庁舎3階 庁議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 秩父市教育大綱について

(2) 令和3年度 教育関係の主要事業について

(3) その他

4 閉 会

「秩父市教育大綱（令和 3 年度～令和 7 年度）」（最終案）について

○最終案 策定の考え方○

【基本的な考え方】

- ・これまで重ねてきた総合教育会議における議論を尊重する趣旨から、大綱の基本的な内容は維持しつつ、パブリックコメントで寄せられた意見（3 件）を踏まえ、本文の一部について文言の見直しを実施しました。

【パブリックコメント案からの変更点】

- ・タイトルについて、
〔令和 3 年度～令和 7 年度〕を〔令和 3(2021)年度～令和 7(2025)年度〕に改めました。
⇒総合振興計画（後期基本計画）の記載に合わせる形で、和暦と西暦を並記する形にしました。
- ・「基本方針 3」の本文中、
「文化財の保護保存と継承」を「文化財の保存・活用」に改めました。
⇒パブリックコメントで寄せられた意見を踏まえ、現行の文化財保護法における位置付けに合わせる形にしました。

秩父市教育大綱〔令和3(2021)年度～令和7(2025)年度〕(案)

【基本理念】

社会の変化に対応して生き抜く力を身に付ける秩父の教育を推進し、秩父の未来を担う人材を育成する

【基本方針】

1 社会の変化に対応して生き抜く力を身に付ける教育

社会の変化に対応し、創造力豊かな生き方ができる子どもたちを育成するため、「読み書き・計算+英語」など基礎学力の向上を図るとともに、学習意欲を高める教育を進めます。さらに、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を身に付けることを目指します。

また、幼児教育、特別支援教育などの推進や教職員の資質向上に努めます。

2 秩父のよさを活かした特色ある教育と優れた才能や個々の能力を伸ばす教育

ふるさと秩父の恵まれた環境を活用した学習活動を組み込み、秩父への親しみや愛着を一層深める教育を進めます。

また、優れた才能や個性を伸ばす教育を進めます。特に、現代のグローバル社会に対応できる英語力の向上や超スマート社会(Society 5.0)に対応したICT教育の充実にも取り組んでいきます。

3 生涯学び続けられる環境、スポーツ・文化に親しむことができる環境の実現

多様化する生涯学習のニーズに応えるため、スポーツや文化芸術の振興、公民館活動の活発化、図書館の利便性向上、文化財の保存・活用などに取り組み、人生を豊かなものにできる学習環境づくりを進めます。

4 家庭とのつながり・地域との絆を大切にする教育

家庭とのつながりによる家庭学習・読書活動の推進、地域との絆による子育て環境づくりなど、学校・家庭・地域が一体となった教育を進め、心豊かな人間関係、青少年の健全育成を目指します。

5 安心安全な教育環境づくり

安心して学ぶことができる教育環境づくりを実現するため、危機対応力の強化や学校施設の整備を進めます。

秩父市教育大綱〔令和3年度～令和7年度〕（案）

【基本理念】

社会の変化に対応して生き抜く力を身に付ける秩父の教育を推進し、秩父の未来を担う人材を育成する

【基本方針】

1 社会の変化に対応して生き抜く力を身に付ける教育

社会の変化に対応し、創造力豊かな生き方ができる子どもたちを育成するため、「読み書き・計算＋英語」など基礎学力の向上を図るとともに、学習意欲を高める教育を進めます。さらに、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を身に付けることを目指します。

また、幼児教育、特別支援教育などの推進や教職員の資質向上に努めます。

2 秩父のよさを活かした特色ある教育と優れた才能や個々の能力を伸ばす教育

ふるさと秩父の恵まれた環境を活用した学習活動を組み込み、秩父への親しみや愛着を一層深める教育を進めます。

また、優れた才能や個性を伸ばす教育を進めます。特に、現代のグローバル社会に対応できる英語力の向上や超スマート社会（Society 5.0）に対応したICT教育の充実にも取り組んでいきます。

3 生涯学び続けられる環境、スポーツ・文化に親しむことができる環境の実現

多様化する生涯学習のニーズに応えるため、スポーツや文化芸術の振興、公民館活動の活発化、図書館の利便性向上、文化財の保護保存と継承などに取り組み、人生を豊かなものにできる学習環境づくりを進めます。

4 家庭とのつながり・地域との絆を大切にする教育

家庭とのつながりによる家庭学習・読書活動の推進、地域との絆による子育て環境づくりなど、学校・家庭・地域が一体となった教育を進め、心豊かな人間関係、青少年の健全育成を目指します。

5 安心安全な教育環境づくり

安心して学ぶことができる教育環境づくりを実現するため、危機対応力の強化や学校施設の整備を進めます。

秩父市教育大綱

【基本理念】

夢・志・誇りを持ち、社会を生き抜く力を身に付ける教育を推進することにより、秩父市への愛着、住み続けたいという想いを深め、秩父市のよさを継承し、秩父市の未来を担う人材を育成します。

【基本方針】

1. 社会を生き抜く力を身に付ける教育

社会の変化に対応し、創造力豊かな生き方ができる子どもたちを育成するため、基礎的な知識・技能の習得など基礎学力の向上を図り、これらを活用する力を身に付けさせるとともに、学ぶ楽しさや分かる喜びを実感し、学習意欲を喚起できる教育を進めます。さらに、基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識を高めるとともに、自らを律しつつ、他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育む教育、そして健康や体力の向上を図るなど健やかな体の育成につながる教育を進めることにより、一人一人が知・徳・体のバランスのとれた生きる力を身に付けることを目指します。

また、幼児教育、特別支援教育などの推進や教職員の資質向上に努めます。

2. 秩父のよさを活かした特色ある教育と優れた才能や個々の能力を伸ばす教育

ふるさと秩父の自然、歴史、文化、まつり、産業などの恵まれた環境を活用した学習活動を組み込み、秩父への親しみや愛着を一層深め、これまで引き継がれてきた秩父市のよさが継承される教育を進めます。

また、優れた才能や個性を伸ばす教育を進めます。特に、現代のグローバル社会に対応できる英語力の向上にも取り組んでいきます。

3. 生涯学び続けられる環境、スポーツ・文化に親しむことができる環境の実現

市民の学習意欲の向上、多様化する生涯学習のニーズにこたえるため、スポーツや文化芸術の振興、公民館活動の活発化、図書館の利便性向上、文化財の保護保存と継承などに取り組み、人生を生き生きと味わいのある豊かなものにできる学習のための環境づくりを進めます。

4. 家庭とのつながり・地域との絆を大切にする教育とこれからの教育環境づくり

家庭とのつながりによる家庭学習・読書活動の推進、地域との絆による子育てや安心安全な環境づくりなど、学校・家庭・地域が一体となった教育を進め、心豊かな人間関係、青少年の健全育成を目指します。

教育委員会では、市として取り組むべき学力向上の施策を見極め、議論の活性化を図り、学力調査結果に基づく課題の解決を目指すと同時に、危機管理体制の強化や学校施設の整備を進めます。

「秩父市教育大綱(令和3年度～令和7年度)(案)」についてのパブリックコメント結果の公表

「秩父市教育大綱(令和3年度～令和7年度)(案)」について、令和2年11月6日から令和2年12月7日まで市ホームページ等を通じてご意見を募集したところ、3人から3件のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見の概要とご意見に対する秩父市の考えについて、以下のとおり取りまとめましたので公表します。ご意見をお寄せいただき、まことにありがとうございました。

1 意見募集の概要

(1) 意見募集期間

令和2年11月6日（金）から令和2年12月7日（月）まで

(2) 案の公表方法

- ・市ホームページへの掲載（告知記事は市報ちちぶにも掲載）
- ・地域政策課、吉田・大滝・荒川総合支所（市民福祉課）で閲覧

(3) 意見の提出方法

文書による提出（地域政策課・各総合支所・何でも投書箱）、FAXまたは電子メールによる提出

2 意見の募集結果

(1) 意見提出者 3人（電子メール2人、窓口提出1人）

(2) 意見件数 3件

「秩父市教育大綱(令和3年度～令和7年度)(案)」に対するパブリックコメント募集結果

No.	ご意見(要約)	ご意見に対する秩父市の考え
1	<p>基本方針 3の本文2行目 「文化財の保護保存と継承」⇒「文化財の保存・活用」と改めてはいかがでしょうか？</p> <p>平成30年に文化財保護法が一部改正され、地域における文化財の保存・活用の取組みの計画的・継続的な実施がより一層促進されてきています。</p>	<p>現行法の趣旨を踏まえた表現とすることが望ましいとの考え方から、ご指摘どおりの表現に修正します。</p>
2	<p>基本理念について</p> <p>秩父市教育大綱「基本理念・草案」を市は以下のように提起した。</p> <p>「社会の変化に対応して生き抜く力を身に付ける秩父の教育を推進し、秩父の未来を担う人材を育成する」</p> <p>軽薄である。公教育に関する思想が貧しく、弱い。</p> <p>地方公共団体は公教育の主たる担い手である。平和で民主的な世界を目指す人を育てる責任を負っているのである。善い人になりたいという想いを育てる土壌となる場でなくてはならない。しかし、草案ではその自覚のかけらも見いだすことが出来ない。</p> <p>「社会の変化に対応して生き抜く力」とはどのような力なのか。それはすでに存在する価値観を無条件に受け入れ、理不尽でも社会の都合に合わせてしんどい人生を耐えながら生き抜く力のことである。非正規労働者になり、過重労働を強いられ、いつクビを切られるかわからない今日の日本社会の中で、それでも耐え忍ぶ根性を身に付けることを秩父市は推奨するのか。この草案には人に寄せる愛がない。</p> <p>「秩父の教育」とは何か。意味不明の文言である。秩父市教育</p>	<p>教育に関する考え方は、実に多様なものがあり、また、文言の意味についても、読み手にとって様々な受け止め方があると思われる。</p> <p>ご意見いただいたような考えをお持ちの方がいる一方、また違う考えをお持ちの方もいらっしゃる、どちらが正しいか正しくないかとは一概には言えず、様々な考え方が自然なことであると思われる。</p> <p>今回の案は、市長と教育委員会(教育長・教育委員)で構成する「秩父市総合教育会議」の場で協議の上、策定したものです。様々なバックグラウンドを持つ構成員相互の意見交換をもとに、1年間を掛けた協議を重ねた結果、会議の総意として策定されたものです。そういった経緯を踏まえ、今回は原案どおりとさせていただきます。</p>

大綱の基本理念なのだから「秩父」が「教育」を行うことは明白だ。草案に至るまでの過程にあった「秩父ならではの教育」のほう表現としてはまだ意味を持っていた。さして深い議論もないまま総合教育会議で言葉が変更されたのは残念である。

「秩父の未来を担う人材を育成する」。これが秩父市の施す教育の目標だとすると絶望する。市としては人口減少のこと、ひいては経済の基盤が脆弱になることを懸念してこのような結論を導き出したと察する。しかし、これは「教育理念」なのである。

「経済白書」ではない。

教育を語る上で欠かせないのは希望だ。民主的な態度でもって、個々人が善い社会の実現のために自分の才能を活かす。そのために自分にもできることがある。その希望を灯すことこそが教育の最大の役割である。なぜ、秩父のみ限定の未来を子供たちに担わせようとするのか。「秩父の未来を担う人材を育成する」ことを目標に教育がなされたならばそこに希望の火は灯るのだろうか。

秩父市は大きな視野を持って教育を語るべきである。先人達の知恵を受け継ぎ、夢や希望を持って善き社会を構築しようとする人たちが秩父から生まれれば、たとえその人たちが世界に羽ばたき活躍しようとも秩父に人は戻ってくる。なぜか。善い教育は人を呼ぶからである。人はまた人を呼ぶ。「世界の未来を担う人材を育成する」覚悟を市には求めたい。

以上の観点から「基本理念・私案」を以下に載せる。

「希望を胸に、民主的な態度で社会に貢献できる市民のための教育を推進します。また、秩父の自然と文化を忘れることなく、善き世界の未来を構築する子どもたちを育てます。」

「基本方針」について

『1 社会の変化に対応して生き抜く力を身に付ける教育』

「基本理念」の項でも指摘したとおり、「社会の変化に対応して生きる」とは既成の社会を無条件に受け入れて生きることだ。

「1 社会の変化に対応して生き抜く力」は「1 平和で民主的な社会を実現するための力」へ変更。また、「社会の変化に対応し、」は「民主的な教育のもと、」へ変更することを要望する。

英語は基礎学力の1つになるのだろうか。英語は一つの言語体系であり、それを使いこなすためには相当の時間と鍛錬を必要とする。英語は基礎学力としてたやすく身につけられるほど甘くない。また、小学生・中学生が「読み書き・計算」を身につけることは学ぶ上での基礎となり得る基礎学力と言えようが、英語はそうではない。そもそも英語は言語なのだ。カテゴリ一違いの言葉が並列されているのは気持ちが悪い。よって、「読み書き・計算＋英語」から「＋英語」を除き、「読み書き計算」とするべきだ。

『2 秩父のよさを活かした特色ある教育と優れた才能や個々の能力を伸ばす教育』

「秩父のよさ」とは何を指すのか。それをどのように「活かす」のか。曖昧である。私の考える「秩父のよさ」とは厳しい自然の中で育んできた知恵をもとに、古来皆が支えあいながら暮らしを立ててきた点にある。その感覚を教育実践に活かすことが先代たちが築いた魂を未来に受け継ぐことにつながる。

そこで、「2 秩父のよさを活かした特色ある教育」は「先代たちが育んできた伝統文化と豊かな自然を活かす教育」へ変更すべきだろう。

『5 安心安全な教育環境づくり』

子供たちが日々安心して学校に通うために必要な視点は「自己

肯定感」である。学校に通うことに意義を感じ、教育の本質を深く理解した教師の下、信頼し合える仲間と共に子供たちが学べたとしたらそれこそ安心な教育環境と言えるだろう。

しかし現在、これらの教育環境を十分に実現している学校がどれだけあるのだろうか。学ぶ意義を感じられない授業、生徒間でのいじめ、教師からの暴力や暴言、同調圧力による空気の読み合い、そしてそれらから生まれる不登校。学校由来の問題は山積している。

「安心安全な教育環境づくり」を謳うのであれば、「危機対応力の強化や学校施設の整備」といった災害対応だけでなく、子供たちの「自己肯定感」を高める必要性に目を向けるべきだ。そこで次の一文を加えることを提案する。「また、いじめや不登校への対策を万全とし、子供たちの『自己肯定感』を高めるように努めます。」

指摘は以上である。戦後の混乱期の中にあってもなお新しい時代にふさわしい教育のあり方を模索し、尽力なされた当時の教育長・鶴沢福松氏の言葉を最後に載せる。この格調こそが教育理念にはふさわしい。軽薄で貧弱な理念を草案した担当課はこれを読み、猛省することを望む。

「(前略) 教育者が、愛の原理に目をおおい、偶像にひざまずき、永劫の相を見失ない、源泉を涸渇せしめ、徒らに軽薄を追い求めるならばまことの教育は何処へいくだろうか。(中略) 今後の秩父の教育の行路は徒らに他に追従したり、模倣に狂奔したりすることだけでなく、源泉を自らの内なる価値に求め、そこから未来を打ち立てる大いなる構想を創造しつつ進むであろう(中略)「教育は人をつくる」という。人とは肚であり、魂であり、精神である。」

3	<p>パブリックコメント案は、全体的に、時代の変化に対応し、盛り込むべき内容がよく盛り込まれていると思いますが、2点コメントさせていただきます。</p> <p>地教行法が改正され、首長が教育大綱を策定する制度に至った経緯の一つは、首長と、別の執行機関である教育委員会との連携が取れず、内部統制の脆弱さ等から不祥事が多発したことであります。しかしながら、法改正後、数年を経過しましたが、全国では教職員の不祥事やいじめは、未だに多く報じられています。一般的には、都道府県、市町村の教育委員会のコンプライアンス（法令順守）、ガバナンス（内部統制）の執行体制に一因があると考えます。</p> <p>そこで、現行の大綱 4 の中で、「危機管理体制強化」は、前記コンプライアンス、ガバナンスを前提とした組織上の対応であり、極めて重要なことと考えます。</p> <p>（案）の5 末尾に「危機対応力の強化」とありますが、現行の「危機管理体制の強化」のほうが、はるかに重大に受け止め、インパクトが強いものとなっております。</p> <p>また、現行の大綱 4 の末尾に、「学力向上の施策を見極め」、「学力調査結果に基づく課題の解決を目指す」と具体的な方法を示していますが、（案）では「基礎学力の向上」と一括されています。「学力向上」は、3月市議会定例会の市長施政方針でもほぼ毎年言及されている重要施策でありながら、実現が非常に困難な事項と思われ、現行要綱のように、本要綱内に具体的に示して教育委員会に要請するのがよろしいのではないのでしょうか。</p> <p>したがって、前記2項目（「危機管理体制の強化」、「学力向上の施策を見極め」、「学力調査結果に基づく課題の解決を目指す」）について、【基本方針】の上位（できれば1）に挿入して</p>	<p>今回の見直しに当たっては、現行の教育大綱の趣旨や基本的構造は継承しつつ、「より分かりやすい」ものを目指して、理念や方針を簡潔な表現にすることを基本的な考え方として策定を進めました。そのような経緯を踏まえ、今回は原案どおりとさせていただきます。</p>
---	--	--

	いただけるとよいと思います。	
--	----------------	--

令和 3 年度 教育委員会主要事業

影森中学校管理教室棟大規模改造事業 229,183 千円【教育総務課】

学校施設長寿命化計画に基づき、影森中学校管理教室棟の大規模改造工事を行う。(防水、外壁、建具、内装、電気・機械設備等の全般改修)

- ・工事請負費 226,950 千円
- ・物品等移転委託料 2,233 千円

荒川西小学校校舎大規模改造事業 130,038 千円【教育総務課】

学校施設長寿命化計画に基づき、荒川西小学校校舎の大規模改造工事を行う。(防水、外壁の全般改修、建具、内装、電気・機械設備等の一部改修)

- ・工事請負費 128,000 千円
- ・物品等移転委託料 2,038 千円

花の木学童保育室改修事業 25,000 千円【学校教育課】

新・放課後子ども総合プランに基づき、中村学童保育室を廃止し、花の木小学校内へ移設する改修工事を行う。(空調機、ロッカー、本棚、事務室、台所、学校との遮断シャッターの設置、外玄関、水道等の改修)

- ・工事請負費 25,000 千円

給食調理場維持管理事業 5,650 千円【保健給食課】

現在の第一中学校共同調理場の熱風消毒保管庫は、洗浄した食器・食缶を次の使用日まで安全に保管するもので、設置より 28 年が経過して老朽化しているため設備更新を行う。

- ・使用料及び賃借料 4,374 千円
- ・工事請負費 1,276 千円

学校給食費の公会計化推進【保健給食課】

学校給食費の公会計化へ向けて、諸課題の検討・準備を行う。

令和 4 年度予算編成までに、課題を整理するとともに、給食費管理システムの構築等の予算要求を行い、令和 5 年 4 月からの給食費の公会計化を目指す。

秩父祭笠鉾屋台管理事業 16,142 千円【文化財保護課】

長年より劣化が進んだ宮地屋台の勾欄、勾欄台、勾欄親柱の修理工事を行う。

- ・旅費 4 千円
- ・消耗品費 34 千円
- ・印刷製本費 10 千円
- ・工事請負費 16,094 千円

インターナショナルセーフスクール再々認証取得事業 5,243 千円【教育研究所】

秩父第二中学校区（二中・花小・南小）の3校を認証取得校として、児童生徒・教職員・PTA・地域の人達などが横断的に協働した安全・安心な学校づくりに取り組む仕組みを構築・維持して、事前審査を受け、再々認証の取得を推進する。

- ・謝礼金 30 千円
- ・普通旅費 46 千円
- ・消耗品費 1,194 千円
- ・食料費 24 千円
- ・印刷製本費 1,320 千円
- ・業務委託料 2,629 千円